

# 限界突破

学校教育目標『いま、ここを頑張る、粘り強い生徒』

目指す生徒像 ○主体的・対話的に学ぼうとする生徒 (自主)  
 ○互いに認め合い高め合う生徒 (友愛)  
 ○志を持ち、自らの未来を切り開こうとする生徒 (創造)

～勇気を出して一歩前へ～

## 猛暑の夏休み・・・

毎日のように熱中症警戒アラートが発表された猛暑の夏休みが終わりました。先日気象庁から発表がありました、今年の夏6～8月の平均気温は過去最高を記録し、例年にない異常な暑さの夏となりました。有喜中学校でもグラウンドレベルで気温を観測したときに40℃を超えるような気温を記録する日が続きました。また、全国的には中学生や小学生が熱中症で死亡する事案も発生し、まさに異常な暑さを象徴する出来事が続きました。幸い有喜中学校では今のところ重篤な熱中症になったという報告はありませんが、まだまだ暑さは続きます。下校中や授業の終わりに症状が発生する場合があります。夏休み明けで体が慣れていないこともありますので、絶対に無理をすることがないように、体調管理には十分に気を付けて学校生活を送ってほしいと思います。ご家庭でも食事、睡眠など生徒の健康管理には十分にご留意ください。



## 2学期が本格的にスタート！



9月1日から本格的に2学期がスタートしました。2学期は、年度当初に立てた目標を達成するために実践を積み重ね、成果を上げることが求められる学期です。気候的にもだんだんと涼しくなり、学習しやすい環境となります。また、修学旅行や総合文化発表会、生徒会選挙など数多くの行事が計画されています。生徒たちには、学習に、スポーツに、そして各種行事にと精一杯取り組み、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

2学期のスタートにあたり、始業式で生徒に1つだけお願いをしました。それは、全学年とも学習への取組を今まで以上に充実させてほしいということです。8月上旬に今年度の学力調査の結果が公表されましたが、諫早市そして有喜中学校は、残念ながら全国、県と比較してもあまり良い結果ではありませんでした。点数の結果だけを気にするわけではありませんが、結果から弱点を分析して改善し、学力を向上させることは結果として生徒の進路保障につながります。そこで、この夏休み、各教科の先生方で学力調査の分析を行い、有喜中の弱点を次の3点に整理しました。

- ①基礎・基本的な定義や内容の理解が不十分である。
- ②家庭学習が十分ではない。
- ③文章を読み取る力、すなわち読解力が不足している。

基礎基本を定着させるためには、根気強く、繰り返し学習するという地道な努力を継続するしかありません。徹底あるのみです。また、家庭学習は、時間を確保するのはもちろん必要ですが、それ以上にわからない内容を分かるまで取り組むとか、暗記できるまで努力するとか、自分に合った学習方法を工夫して学習の質を高める必要があります。質の良い学習であれば短時間でも構いません。自分の状況をしっかりと見つめて、改善の努力をしてほしいと思います。最後に読解力については、読書つまり本を読むことが何より効果的です。学習のためというよりは、好きな本を読む習慣をつけることで早く正確に読み取る力をつけてほしいと思います。

この3つの弱点については、有喜中に共通する課題として、始業式の中で生徒と共有し、改善の努力を促しました。保護者の皆様も生徒への声掛けをお願いします。

## 『人生は敗者復活戦』

これは、夏の高校野球、決勝戦で敗れた仙台育英の須江監督が決勝戦後のインタビューで伝えた言葉です。「人生は成功から学ぶことは多いが、それ以上に失敗や負けたことから学ぶことの方がはるかに多い。」という須江監督の信念から発せられたものでした。確かにその通りだと思います。中学校時代や高校時代は失敗や後悔の繰り返しです。しかし、その失敗や後悔を貴重な経験の積み重ねととらえれば、人として成長している証とも言えます。若い頃の失敗は人生の肥やしであるととらえ、目標をしっかりと見据えて何度も何度も立ち上がることを、それが何より重要であることを始業式で生徒に伝えました。いくつになっても人生に遅すぎることはありません。生徒たちには失敗にくじけずに前向きに学校生活を送ってほしいものです。